

こんなことも
しています!

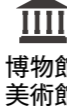
沖縄県立博物館・美術館には首里城火災によって割れた瓦や溶けたガラスを文化財として収めているほか、火災被害にあった美術工芸品の修復協力も行っているよ!



漆芸品修復の流れ(一例)

- ① どこが破損しているかなど、状態を確認する。
- ② 割れ目に漆を流し込んだり、刷り込んだりして構造を安定させる。
- ③ 付着したほこりを取り除くクリーニングを実施。塗膜がめくれている箇所を押さえる。
- ④ 完了したら元の箱に戻し、収蔵庫に収める。工程も記録に残す。

CASE 1



沖縄県立博物館・美術館
<https://okimu.jp/>

ホームページ



沖縄の歴史や文化を 守り続ける専門集団

沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)では、美術工芸品等の収集や他の機関から依頼のあった作品の保存修復を行っている。博物館では輸送による破損を防ぐために修復の技術者を招き、館内で漆芸品の修復作業を行う。館内には温度や湿度を管理した10以上の収蔵庫があり、合計約10万5千個の貴重な収蔵品を保管。沖縄の歴史や文化、芸術を伝える役割を担っている。



(写真提供:一般財団法人沖縄美ら島財団)

行ってみよう!
収蔵資料数は県内最大
「おきみゅー」に潜入!



沖縄県立博物館・美術館の
マスコットキャラクター
「おきみゅーちゃん」

進め!
うちなー
調査隊

県内の気になるコト・モノを知れば
沖縄がもっと面白くなる!

沖縄の文化を残すための舞台裏と 担い手育成の実態に迫る!

多様な文化を後世に伝える人材育成の取組

CASE 3



[劇場]

公益財団法人国立劇場おきなわ
<https://www.nt-okinawa.or.jp/>

ホームページ



組踊の将来を担う
伝統芸能伝承者養成事業

実践的なカリキュラムに豪華講師陣が集結

国の重要無形文化財「組踊」の伝承者を養成するための研修を行っている。期間は3年間。2005年から始まり、現在の7期生を合わせて66人の研修生が受講している。人間国宝ら各分野の第一人者が講師を務め、「執心鐘入」や「花売の縁」など組踊を代表する6演目の習得を目指すほか、琉球舞踊や各自の専攻とは違う楽器の演奏、発声方法や作法などの基礎実技を学ぶ。組踊は後継者の高齢化が進んでおり、若手伝承者の育成が急務とされている。

CASE 2



[大学]

沖縄県立芸術大学
<https://www.okigei.ac.jp/>

ホームページ



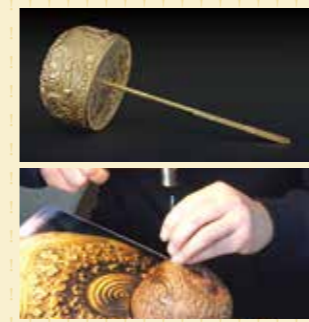
保存や修復技法を学ぶ
大学院での特別演習

沖縄から誕生する未来の文化財修復士

沖縄県立芸術大学の漆芸分野では、2021年度から隔年で「文化財保存修復」の特別演習を実施している。漆芸の知識や基本技術を身につけた大学院生を対象に、これまでに計6人の学生が受講。3日間かけて東京藝術大学の講師や漆芸品の修復作業を担う専門家から、文化財修復の概念や技法を学ぶ。受講した学生からは「実際に使用する道具や工程を知ることができ、改めて保存修復の重要性を実感できた」との声も。将来の修復士誕生に期待が高まる。

沖縄には、独特な気候風土や琉球王国時代に海外の技術を取り入れて独自の文化を育んできたことを背景に、有形無形を問わず数多くの貴重な文化財が存在します。2022年5月1日現在、国や県または市町村が指定した文化財は、建造物や工芸品、組踊など1440件に上ります。特に、琉球王国時代に生まれた伝統的な工芸技術は国内外でも高く評価されています。民藝運動の父とされる柳宗悦は、「宝の山に入ったような想い」と賞賛しました。また、メトロポリタン美術館といった欧米の著名な施設にも沖縄の工芸品が所蔵されています。

沖縄県立博物館・美術館を中心に、2015年度から2021年度まで行われた「琉球王国文化遺産集積・再興事業」では、科学分析などの最新研究を基に、65点の文化財を模造復元しました。16世紀ごろに作られたとみられる「間得大君御殿雲龍黄金簪」の復元工程では、厚さ0.4ミリの銅板に文様を彫金していることが分かるなど、当時の技術レベルの高さを改めて立証できました。模造復元品の製作を通して、途絶えてしまった琉球王国時代の手業を現代に再現することは、今後の伝統工芸品の修復・復元作業にも役立ち、学術的にも大きな意義があります。



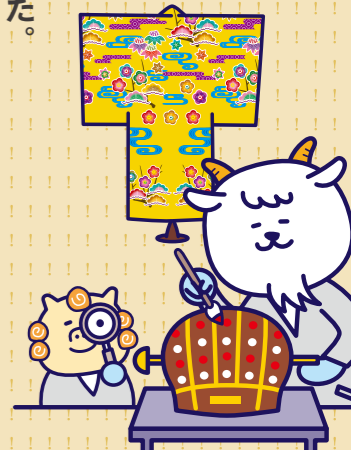
模造復元された「間得大君御殿雲龍黄金簪」と、製作の様子(写真提供:沖縄県立博物館・美術館)

また、県内では現在、学術機関や公共施設などで、若手修復士や伝承者を育成するための取組も行われており、工芸技術の再現と合わせることで、後世に残すための保護・修復活動への相乗効果が期待できます。歴史を後世に伝えるために、文化財を守ることは大切なこと。11月1日の「琉球歴史文化の日」を機に、文化財を通して、琉球王国時代を含む沖縄の歴史や文化について考えてみてはいかがでしょうか。

沖縄だからこそ
生まれた豊かで多様な
伝統工芸

琉球王国時代の技法を
再現し、現代に蘇らせる

県は2021年、11月1日を「琉球歴史文化の日」に制定しました。かつて琉球王国だった沖縄には歴史や伝統を伝える多くの文化財が残っており、後世に受け継ぐため、さまざまな機関が保護や修復に取り組んでいます。



進め!
うちなー
調査隊
まとめ

世界に誇れる沖縄の文化を
次代に残す取組が始まっている。



- ✓ 琉球王国時代に培われた数々の伝統技術は国内外において高く評価されている。
- ✓ 当時の技術を再現し、人材を育成することで多種多様な貴重な文化を将来に残すことができる。

確認しよう!
最低賃金

沖縄県は896円
43円UP

使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金

確認しよう!
最低賃金

沖縄県は896円
43円UP

使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金